

建設現場でのやりがいに関する4つの取組方針案

～地方整備局で展開するための具体案～

国土交通省

大臣官房 技術調査課

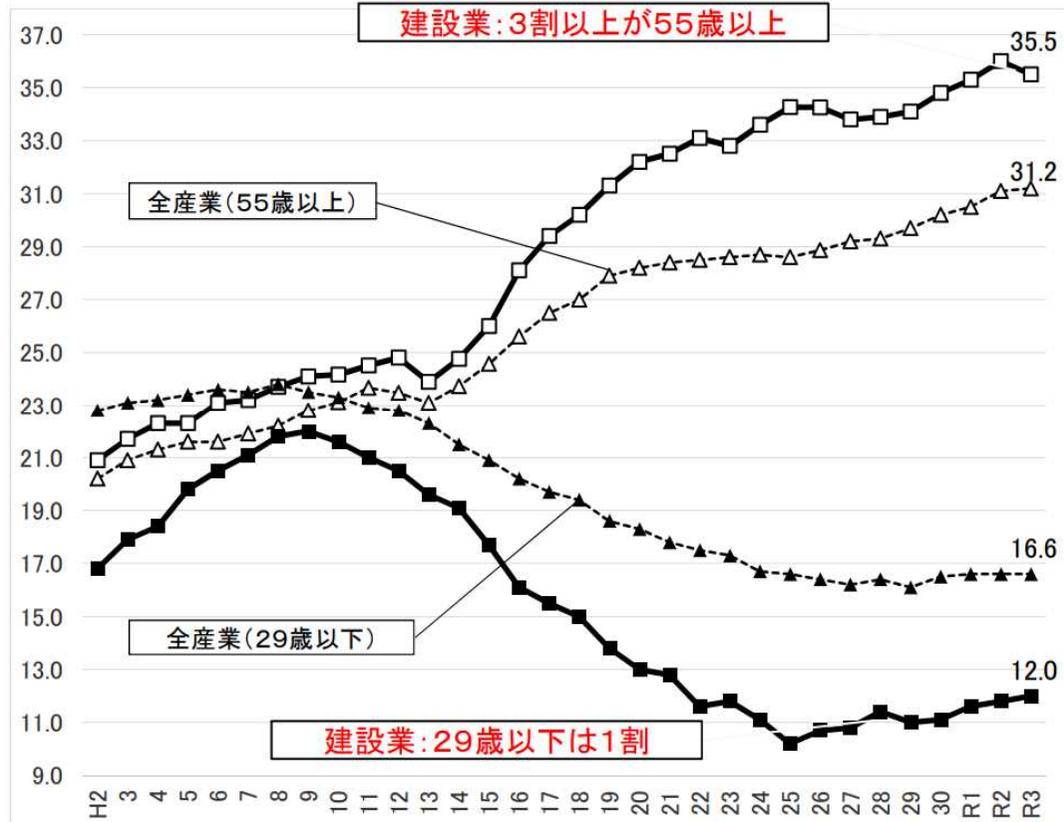
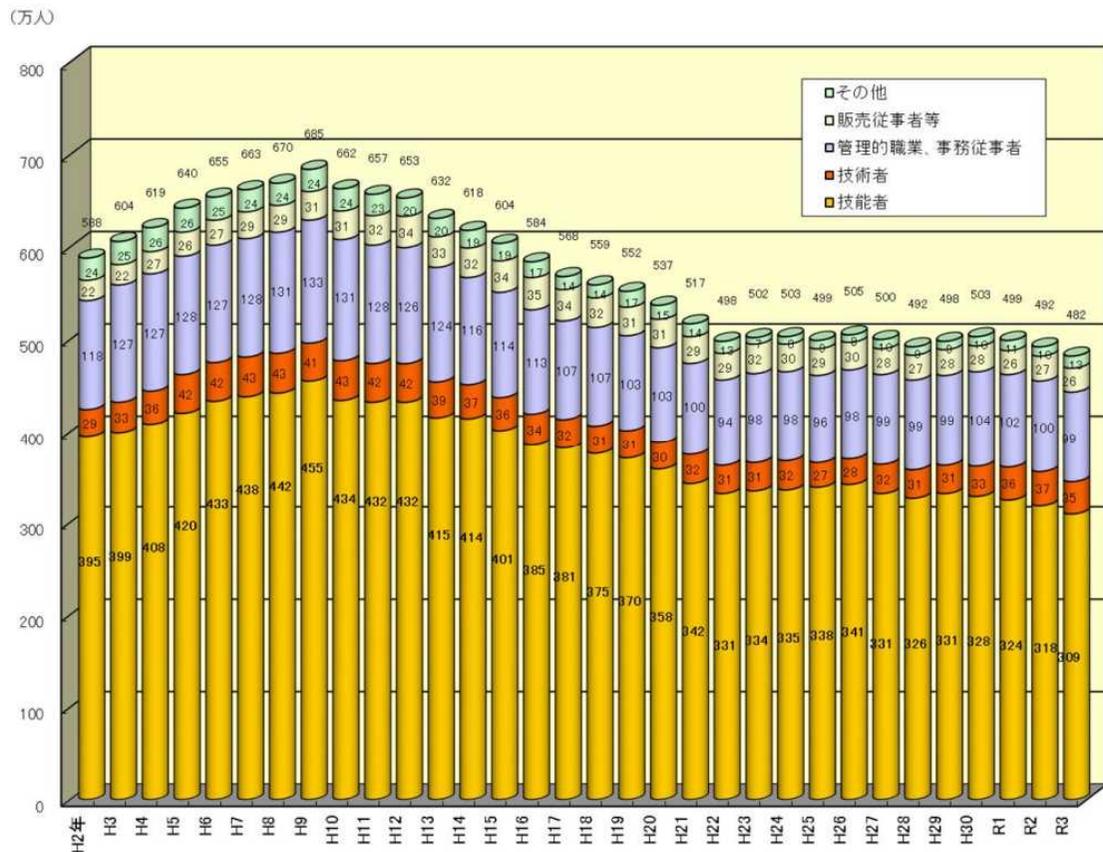
我が国の担い手の現状

技能者等の推移

- 建設業就業者： 685万人(H9) → 498万人(H22) → 482万人(R3)
- 技術者： 41万人(H9) → 31万人(H22) → 35万人(R3)
- 技能者： 455万人(H9) → 331万人(H22) → 309万人(R3)

建設業就業者の高齢化の進行

- 建設業就業者は、55歳以上が35.5%、29歳以下が12.0%と高齢化が進行し、次世代への技術承継が大きな課題。
※実数ベースでは、建設業就業者数のうち令和2年と比較して55歳以上が6万人減少(29歳以下は増減なし)。



担い手確保に向けた取組を継続して実施していくことが重要な課題

※ 出典：総務省「労働力調査」を基に国土交通省で算出

建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会(H30.11月～令和元年12月)

検討委員会では、建設現場で働く人々の「誇り」、「やりがい」、「魅力」を次のように定義づけている。

「誇り」：一般市民に対して胸を張れること

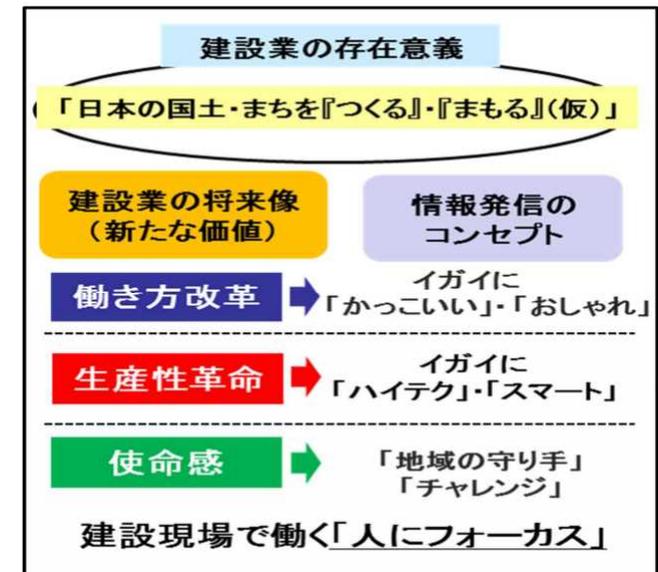
「やりがい」：働く人々が仕事を通じて満足できること

「魅力」：一般市民が、働く人々の「誇り」や「やりがい」を感じ、好意的な関心を持つこと

✓ 「誇り」、「やりがい」、「魅力」は、建設現場で働く人々一人一人の行動や情報発信を通じてそれぞれが高まっていくとともに、相互に関連し合うことで高まりあっていくものである。建設現場で働く人々の「誇り」、「やりがい」が向上することで、建設現場の「魅力」の向上につながり、魅力の向上がさらに「誇り」、「やりがい」を向上させるという好循環につなげていくことが理想であり、建設現場に携わる関係者が一致団結して、統一的な行動や情報発信を行っていくことが重要である。

✓ 「誇り・魅力・やりがい」向上の方向性は、「建設業の普遍的な価値(存在意義)の共有・新たな価値を明確にし、その実現のため行動・情報発信を行うこと」である。

※ 「リブランディング」とは、時代や顧客に合わせ、既存ブランドの再構築を含めた新たなブランドを構築することである(右図参照)。



建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会による4つの提言案(R2.1月)

■提言案は「リブランディング」にフォーカス、検討・作成されて、以下の方針案がまとめられている

建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがいの向上



○ 建設現場の担い手の確保に向け、魅力ある建設現場としていくため、発注者、元請け、下請け企業らが共通の目標の下、一体的な取組を推進するため、提言書を取りまとめ。

方針案(施策案)	施策内容の例
(1) 全国展開の施策(4施策)	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応における着用物の統一化 工事銘板による技術情報の発信 女性活躍の推進 建設現場のイメージ映像の配信
(2) 点から面となった取組へ～官民一体となった体制の構築～	<ul style="list-style-type: none"> 上記の4施策について、受発注者が共通の目的やコンセプトの下、一体となって必要な施策を推進する体制を構築し、受発注者が一体となって継続的な取組として長く続くよう工夫していく
(3) 各地域ブロック単位での取組・施策	<ul style="list-style-type: none"> 工事現場の仮囲い、技術者等の表彰、建設業の魅力発信
(4) 他業界とのコラボレーション・土木学会との連携	<ul style="list-style-type: none"> IT、健康・清涼飲料水業界等のコラボレーション ドラマのロケ地での使用

官民による推進母体での施策推進

全国展開の施策

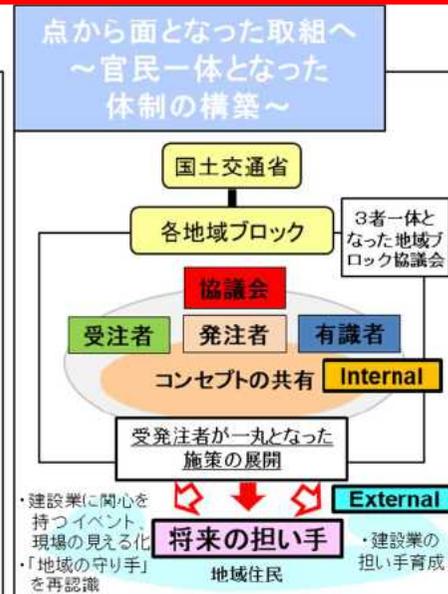
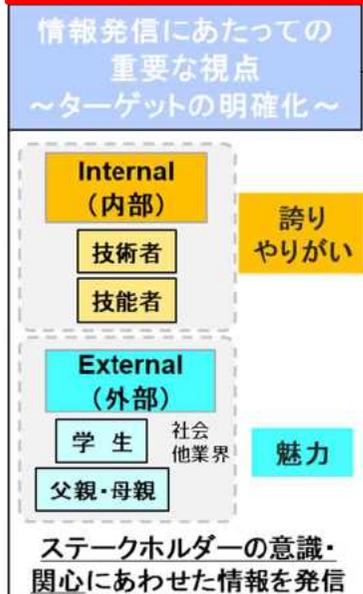
- ① 災害対応における着用物の統一化
- ② 工事銘板による技術情報の発信
- ③ 女性活躍の推進
- ④ 建設現場のイメージ映像の配信

① 地域の安全・安心確保や社会貢献できる「誇り」を共有

② 工事に携わった関係者の「誇り」と「やりがい」の向上

③ 女性が活躍できる職場環境の改善、ロールモデルの発信

④ ポータルサイトによる一括化



ブロックで取り組む施策

仮囲いデザインアイデアコンテスト

建設現場に従事する技術者の紹介

技術者・技能者表彰

受・発注者が協働した魅力の発信

※ 出典: 国土交通省HPより引用

災害対応における着用物の統一化

- 災害に一丸で取り組む姿勢の発信として、行政機関・建設業・建設コンサルタントが統一着用物の導入

工事銘板による技術情報の発信

- QRコードを用いた工事完成までの映像を発信
- 工事関係者を映画のエンドロールの様に流して紹介

女性活躍の推進

- 快適トイレ等のハード整備
- けんせつ小町、ロールモデルの発信等のソフト整備

建設現場のイメージ映像の発信

- 建設業の仕事がイメージできる映像を国で集約し一元的に配信

各ヒアリングで出た主な意見

【共通意見】

R4.10月の各地整ヒアリングの意見

- 全国的に4施策に係わる取組事例が比較的少ないため、4施策について改めてその必要性を認識するとともに更なる周知徹底を図ることが重要。
- 4施策に関するテーマの継続を意識しなくても、受発注者ともにやりがい向上に繋がる取組を工夫して行っていた。
- 「リブランディング」などの横文字が多いため、分かりやすい言葉や発信方法が望ましい。

【4つの個別施策への意見】

R4.10月の各地整ヒアリングの意見

- ビブス等による着用物の統一化は一目瞭然で建設業者の活躍が分かり、統一感をもって災害に対応できる。
- 工事銘板の取組(技術者名の記載等)は進んでいる。
- 女性の定着促進に向けた建設産業行動計画(令和6年目標)に向けて、快適トイレの設置や女性技術者の活躍等の取組は進んでいる。
- 建設現場のイメージ映像の発信は、自社のPR等として受注者側で作成されているケースが多い。また、発注者側でも一括化して配信する取組などは進んでいる。

R5.1月の4協会(全地連、建コン協、全建、全測連)へのヒアリングの意見

- 協会で作成し配布しているが、なかなか着用が進んでいない。建設業の取組として、一般の方に対する認知の在り方について検討する必要がある。また、TEC-FORCEを通した発信もうまく活用したほうが良い。
- 工事銘板等は更なる改善案としてQRコードを使った情報発信等、業界としての取組も必要。
- 女性活躍に資する取組は進んでいるが、より良い職場環境の整備と併せて更に工夫して発信する必要がある。
- 情報を一元的にまとめることは良いと思う。何をターゲットに広報するかを明確にする必要がある。

【今後の方向性】

建設業界全体でやりがいに繋がる良い取組を共有し、更なる行動に繋げていく

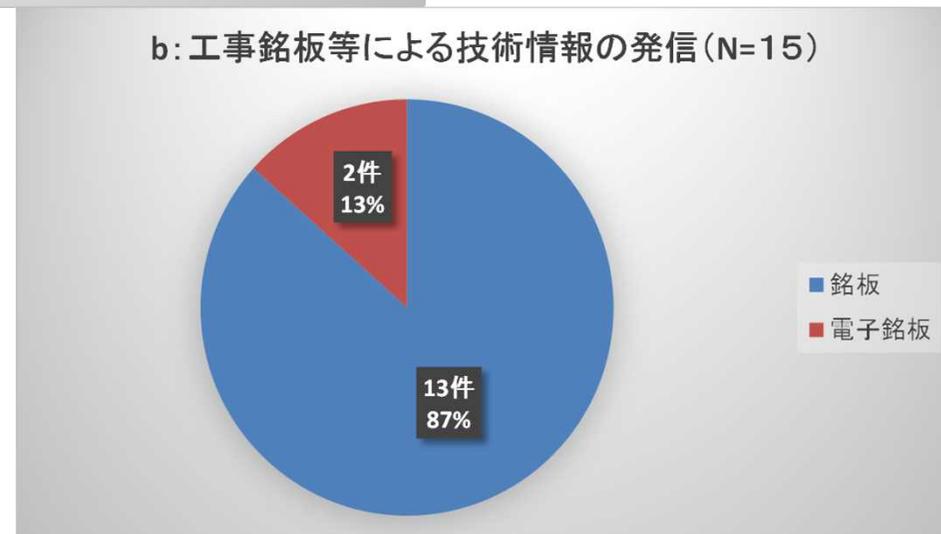
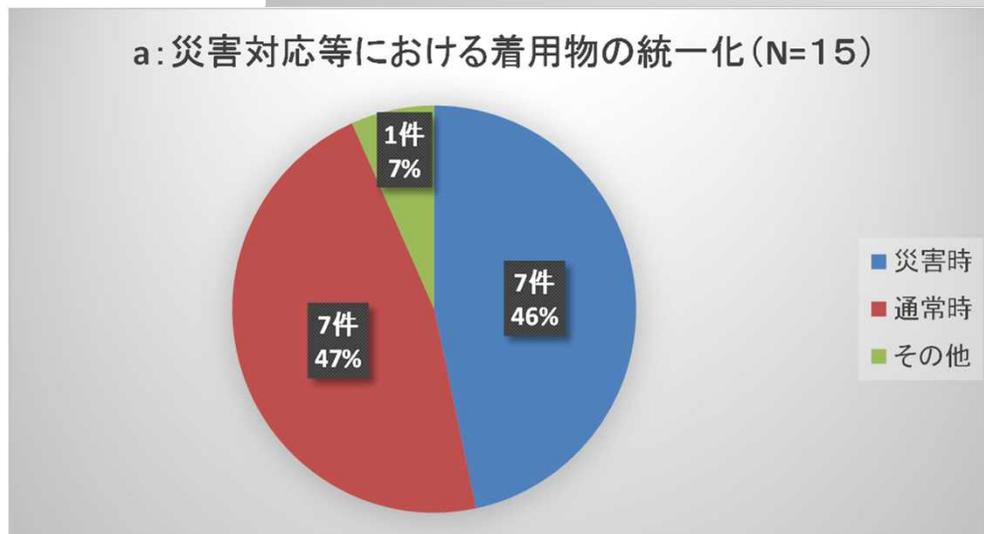
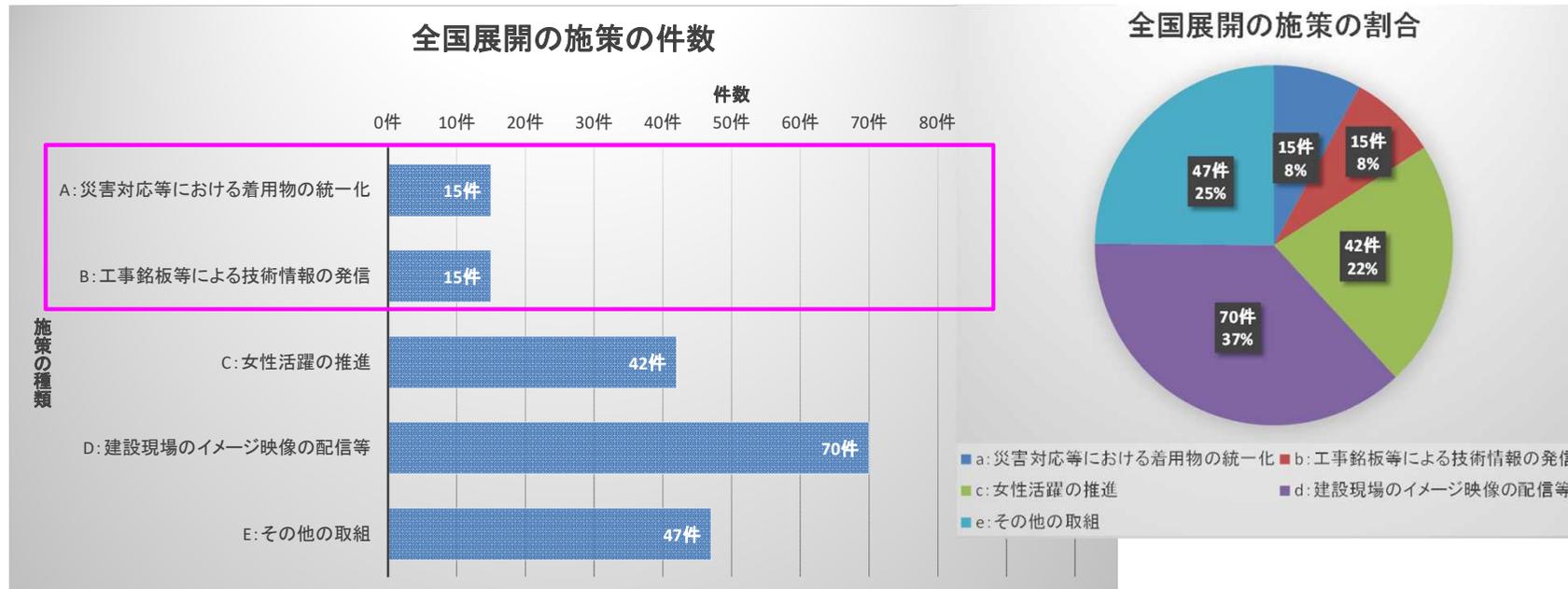
具体案①: 業界との意見交換会や記者発表等で取組内容や好事例を発信し、受発注者間の相互理解と展開の促進を図る。

具体案②: やりがい4施策の展開に向けた共通ポスターを作成することで、内外(関係者・第三者の双方)へのアピールを図る。



各施策取組状況及び具体例の提案

- 施策①: 災害対応における着用物の統一化
- 施策②: 工事銘板による技術情報の配信



◎全国的に取組事例が比較的少ないので、具体例を提案し取組事例を増やす。
 ⇒目標件数: 50件(目安は各地整5件以上の取組事例数)

① 災害対応時における着用物の統一化

- 関東地整では、本年度からTEC-FORCE派遣の際に災害対策車両等のオペレーションを行う民間企業等（災害協力団体）のスタッフに専用にビブスを貸与し、着用協力を求めているところ。
- 災害対策作業に従事する民間企業等（災害協力団体）の活動状況についてもTEC-FORCE活動の一環として広報を行うとともに、地域の安全・安心の確保や社会貢献できる誇りを皆で共有。

【現在の取組】

- 災害現場へ派遣される際に国土交通省統一ビブスを着用
- 横断幕又はマグネット式ネームプレートを車両に貼付



<情報発信>



- 災害現場での活動状況を関東地方整備局ホームページ、Facebook、twitterを用いて広報

【新たな取組】

- TEC-FORCE派遣の際に災害対策車両等のオペレーションを行う民間企業（災害協力団体）スタッフ用ビブスを調達し、平成31年度から災害出動の際に着用を協力依頼。
- 災害対策車両等を保有する各事務所に事前配布し、災害出動の際に民間企業（災害協力団体）へ貸与。
- 九州地方整備局において平成29年度に調達した災害協力団体用ビブスとデザインを統一。
- 着用の想定：災害対策車両等の運転・操作及びUAVの操作等のTEC-FORCEに同行し、災害復旧等を行う場合。



東京都測協の統一作業服



被災現場での測量技術者達（広島）

具体例①: ビブス等の統一的な着用

各地方整備局や各業界団体等でビブス等を準備し、災害対応時の着用を徹底する。さらに、将来的には建設業界として統一的なビブス等を製作し、災害対応時に一斉に着用することで、建設業界としての存在意義の証明や他者への役割の明確化を図る(例: 自衛隊や消防団)。



※ 出典:(左図)令和元年12月2日 第4回 建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会資料より引用
(中央図)山形県建設業協会HPより引用、(右図)山形ドローン協会協同組合HPより引用

具体例②: TEC-FORCEの役割及び活動範囲の明確化

TEC-FORCE隊各班の活動状況における記録・とりまとめや、活動状況等の情報提供、報道機関等への対応を担当する広報・ロジ班が、ビブス等を着用した地域の守り手(建設業界)のリアルタイムでの活動状況(真っ先に駆けつけての対応状況や被災状況等)も併せて内外(関係者・第三者の双方)に発信することで理解促進を図る(例: TEC-FORCEの特設ページやSNS等を使って配信)。

【ポイント】被災状況や建設業界の地域貢献を正確に伝えること。



※ 出典: 中部地方整備局HPより引用

災害対応における着用物の統一化

具体例③-1: デザインを介して他業界とのコラボによる付加価値(機能性等)を持った着用物の製作及びイメージアップ(災害時)

災害時、通常時を問わず、着用物の工夫を活かす取組を推進する。

例: 各自治体とミズノ社(スポーツメーカー)の共同で防災服をリニューアル



※ 出典: 自治体通信HPより引用

具体例③-2: デザインを介して、プロジェクトや有名人とコラボした斬新なデザインの着用物を通じたアピール(通常時)

災害時、通常時を問わず、着用物の工夫を活かす取組を推進する。

表彰された6作品のデザインユニフォーム

学生デザイナー



↑ 例: 全国建設業協同組合連合会と東京モード学園の共同で開催したユニフォームデザインプロジェクトの様子 (2018/2/15)

※直近で、2022/10/18にも開催(334名の学生が応募)

例: 日建連けんせつ小町のプロジェクトで有名人と共同してユニフォームをデザイン(YouTubeでアップ) →



※ 出典: 全建協連HPより引用

工事銘板による技術情報の発信

② 銘板への技術者記載の取組

- 国土交通省では、技術者の「誇り向上」や「存在の可視化」を目的として、建設工事に従事した技術者名を銘板に刻銘する取組みを実施中
- 設置対象構造物の拡大や、記載する技術者を下請企業の専門技術者にまで拡大している。
- より効果的な展開に向け、目的とターゲットを明確にし、更に、UI/UXの視点を踏まえた検討が必要

事例：長野県 上高地トンネル



銘板 裏面

UI (User Interface) : ユーザーと情報の接点

例) Webサイト上のデザイン・フォントもインターフェイス
製品であれば、外観などユーザーの視覚に触れる情報など

UX (User Experience) : それを通じて得られる体験価値

例) Webサイトの場合、デザインが綺麗、見やすいなど

■ UIの観点からの課題

従来の設置箇所は、人目に触れる機会が乏しいため、SNSの活用や道の駅、展望台など多くの人の目に触れる手段・場所を検討

■ UXの観点からの課題

どれだけの人々に見てもらったか、見た側の反応を検証し、目的と効果を踏まえて検討

② 工事関係技術者の名前を刻んだ銘板の取組

- 関東地整では、土木工事の銘板について、運用基準を改定し、対象構造物及び対象技術者を拡大。
- 技術者の軌跡を残すことで土木技術者の誇りとやりがいを伝え、担い手確保に繋がることを期待。
- 現場技術者からも「仕事への大きな魅力と誇りを改めて」実感するなど、好意的な意見が得られた。

1. 対象構造物

- ①擁壁②カルバート③橋梁上部工④橋梁下部工⑤トンネル⑥堰⑦水門
- ⑧樋門(樋管)⑨砂防堰堤⑩シェッド⑪大規模法面⑫(揚)排水機場

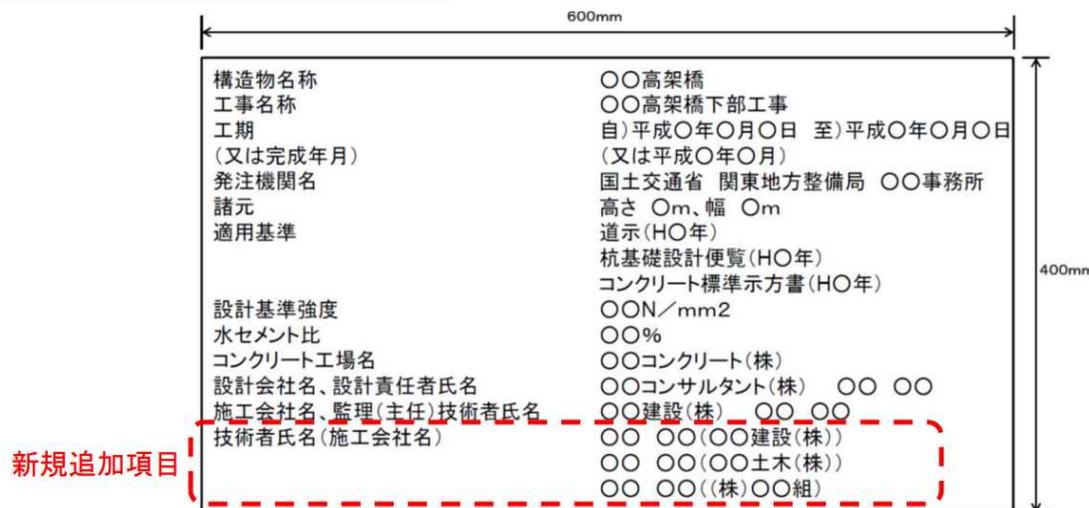
2. 対象技術者

【設計】会社名、設計責任者氏名

【施工】元請会社：会社名、監理(主任)技術者氏名、現場代理人氏名、担当技術者氏名

下請会社：会社名、専任の主任技術者氏名

3. 銘板記載事項(イメージ)



②電子銘板の取組事例(長崎県)

長崎県 Nagasaki Prefectural Government

色合い 白 黒 青 文字サイズ 標準 拡大 Google カスタム検索 検索

ホーム 目的で探す 分類で探す 組織で探す 地方機関で探す カレンダーで探す 地域で探す

ホーム > 分類で探す > まちづくり > 道路・交通 > 道路改良事業 > 百花台公園各所に「電子銘板」を設置しました

このページを印刷する

メニュー

- 道路改良事業
- 道路維持事業

百花台公園各所に「電子銘板」を設置しました

いいね! 0 ツイート

2018年1月15日更新

【電子銘板の目的】

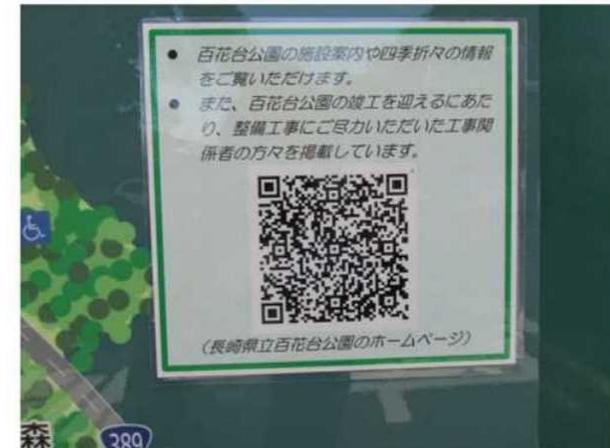
県立百花台公園の整備において、建設工事に従事され尽力された方々に敬意を表し名前を残すことを目的に「電子銘板」を作成しました。

【電子銘板の内容】

- ・閲覧方法：公園各所に設置している「百花台公園案内図」に記しております電子銘板のQRコードを読み込むと百花台公園のHPに移動します。各種項目がございますので、「百花台公園整備工事関係者名簿」を選択し、ご閲覧下さい。
- ・協力会社：31社（土木工事業、造園工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業等）
- ・関係者人数：79名（各職種の現場技術者、型枠工、鉄筋工、とび工等）
- ・管理者：長崎県及び指定管理者

[電子銘板【PDFファイル/516KB】](#)

下記のQRコードをスマートフォン・タブレットから読み込みますと、百花台公園のHPに移動します。

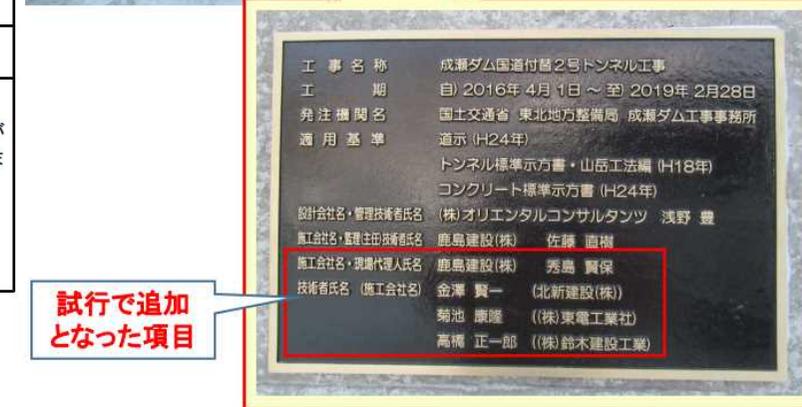


記者発表による取組や技術者コメント等の公開

【銘板設置箇所】



『この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30東環、第23号)』



試行で追加となった項目

【銘板に記載された協力会社の技術者コメント】

氏名	金澤 賢一	施工会社名	北新建設 株式会社
----	-------	-------	-----------

【コメント】
私共の会社では、国道付替工事に伴うトンネルを施工させて頂きました。この度はトンネルの入り口に、これまでになく新たに「協力会社の専任技術者」として、名前を刻んで頂けるということで、恐縮ですが東成瀬村で工事できたことが一生の思い出となり、大変嬉しく思います。成瀬ダムの完成により、地域の生活向上、秋田県のますますの発展につながることを期待しております。

氏名	菊池 康隆	施工会社名	株式会社 東電工業社
----	-------	-------	------------

【コメント】
当現場完成に伴い、これまでになく新たに「協力会社の専任技術者」として銘板に当社の名前と自分の名前が記された事は、大変光栄に思っております。当社の役割は、トンネル工事用の仮設電気工事を行っておりました。なにより、無事に工事完了を迎えられた事を、大変うれしく思っております。社名・名前が刻まれた事に責任と誇りを持って、今後の仕事に励みたいと思います。

氏名	高橋 正一郎	施工会社名	株式会社 鈴木建設工業
----	--------	-------	-------------

【コメント】
秋田県内で「協力会社の専任技術者」の名前を入れた銘板を設置するのが初めてとは、大変驚いています。これからの人生の、励みになると思います。そして、これからの若い技術者の励みにもなると思います。本当に、ありがとうございます。

記者発表資料
平成31年3月19日
国土交通省東北地方整備局
成瀬ダム工事事務所

土木構造物に工事関係技術者の氏名を刻みます
～土木技術者の誇りとやりがいを伝え、将来の担い手確保に繋げる～

東北地方整備局では、土木構造物の諸元等を表示する銘板について、記載される対象技術者拡大の試行を行っています。成瀬ダム工事事務所で行った試行対象となった工事におきまして、関係会社の技術者氏名を記載した銘板が設置されました。工事関係技術者の氏名を残す事で、技術者の誇りとやりがいを広く伝え、建設業の新たな担い手確保に繋がることを期待しています。

- 試行のポイント
- 対象技術者●
 - ①元請施工会社の現場代理人、担当技術者まで拡大します。
 - ②下請施工会社の専任の主任技術者を新たに加えます。

設置工事名：成瀬ダム国道付替2号トンネル工事
施工会社名：鹿島建設株式会社

銘板に記載された、協力会社の技術者コメントは次ページに掲載

《発表記者会》
秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢支局
日刊秋田建設工業新聞、建設新聞社秋田支局

※ 出典：東北地方整備局HPより引用

小学生による銘板の揮毫(きごう)及び銘板を通じた地域貢献

ただいま 橋の銘板を作成中！！

～八百津町内の小学校児童のみなさんに
橋銘板の書体原案の作成をお願いしています～

平成22年に完成予定の「新旅足橋」と「杣沢橋」、それぞれの橋の高欄*1に設置される橋銘板*2の書体原案の作成を八百津町内の小学校児童のみなさんをお願いしています。



【設置例】

「新旅足橋」・「しんたびそこ橋」・「しんたびそこばし」
「杣沢橋」・「そまざわ橋」・「そまざわばし」
それぞれの書体の橋銘板が橋の高欄の4箇所（3作品
+完成年月日）に設置されます。（設置例）
各書体1作品づつ合計6作品が橋銘板の書体原案として採用されます。（書体例）

- *1 高欄とは、橋から車や人が落ちるのを防ぐ欄のことで
- *2 橋銘板とは、橋の名前などを記した金属の板のことで

【書体例】



銘板の設置箇所



<鈴鹿橋の橋名板の記念撮影>



<高岡跨線橋の橋名板の記念撮影>



北海道内の教育関連情報をいち早く発信。教育関係者のための総合サイトです。
2022年11月28日 月曜日

文字サイズ 大 中

- 利用案内
- 購読案内
- 使用方法
- 利用規約

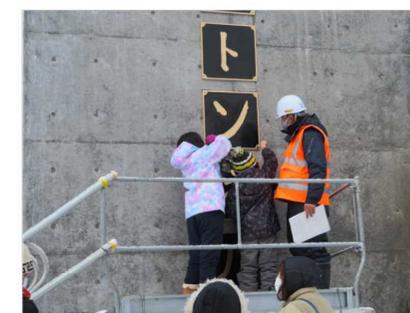
TOP	各種記事	各種予定・日程	情報BOX	サイトについて
-----	------	---------	-------	---------

トップページ > 記事種一覧 > 記事検索 > 記事詳細画面

前のページに戻る

新白糸トンネル銘板取り付け体験 記念の思い出を残そう 札幌市定山溪小全校児童

(札幌市 2021-12-24付)



直筆の銘板を取り付けた

札幌市立山溪小学校（金野督校長）の児童は21日、市内で工事を行う建設業者・(株)砂子組主催の新白糸トンネル銘板取り付け体験に参加した。全校児童20人がトンネル銘板の取り付けに挑戦。児童たちは、直筆で書き上げた銘板を自らの手で取り付けた。

工事現場は開発局札幌開発建設部発注の一般国道230号札幌市定山溪道路改良工事。

銘板の取り付け体験は、トンネルに銘板を付ける際に、近隣の小学校に通う児童たちの思い出に残ってほしいという思いで、銘板に刻む文字を書いてもらおうと砂子組が企画した。

当日は、銘板取り付けのほか、ドローンやパワーショベルのシミュレーター体験も実施。児童たちは、様々な最新の技術にふれ、建設業に対する理解を深めた。

引率した山本尚枝教頭は「銘板はずっと残るもので、このトンネルを通るたびに思い出がよみがえってくる。児童たちにとって記念になる体験となった」と話していた。

同社定山溪作業所の佐藤和彦所長は「最新技術にもふれてもらい、建設業への理解を深めてもらったので、こうした取組を将来の担い手確保につなげていきたい」と意気込みを語った。

(札幌市 2021-12-24付)

※ 出典:(左図)中部地方整備局新丸山ダム工事事務所HPより引用、(中央上図)三重県HPより引用、(中央下図)福島県南会津郡下郷町の広報誌「広報しもごう」R2.7月号より引用、(右図)北海道通信社(DOTSU-NET)の記事より引用(北海道開発局の取組)

具体例①-1: 電子銘板 (QRコード等) による発信

工事関係者名以外に、建設に至る経緯やその過程、施工中の写真など多くの情報をサーバーのHP上で作成し、セラミックプレート等に印字したQRコードから、スマホやタブレット等を通して閲覧する。

セラミックプレートの作成イメージ (赤枠内)

電子銘板 西海橋

この土木構造物は、1951年に着工し、1955年10月に竣工されました。同年12月より供用を開始しています。
下記のQRコードをQRコードリーダーで読み取ると情報サイトURLが表示されます。
情報サイトにて工事にかかわった方や施工前写真など紹介しています。

↓↓ 情報サイトURLへはこちらのQRコードから ↓↓



QRコードリーダーは、ここから入手できます。
公式QRコードリーダー“Q” デンソーウェブの無料QRアプリ




Android iPhone URL: <http://app-liv.jp/911719423/>

実物大



← これがQRコードです。

QRコードは、スマホやタブレット等のQRコードリーダーで読み込みます。

QRコードリーダーは、スマホやタブレットのアプリです。
無料で配布されているものをインストールして利用することができます。

最新のQRコードリーダー(アプリ)は、プレート下方に記載しているURLからも入手できます。

大きさ 20 cm × 20 cm のセラミックプレート

具体例①-2: 電子銘板 (QRコード等) とセラミックプレート併せた発信

建設に至る経緯やその過程、施工中の写真などの情報は、直接セラミックプレート等に掲載する。また、工事関係者名は、スマホやタブレット等で閲覧できるQRコードにし、併せて掲載する。

A3版セラミックプレートの作成イメージ (赤枠内)

※こちらは、電子銘板イメージ機撮りです。正式なものではありません。作成者もご承知下さい。

西海橋

発注者：長崎県（仮）



日本三大急潮のひとつといわれる針尾瀬川により、長い間「陸の孤島」であった西彼杵半島と佐世保市を陸路で結び、半島における産業の振興、開発の促進を目的に架けられた。1951年に着工し、1955年10月に竣工。同年12月より供用を開始した。総事業費は5億6千万円（当時）で、完成時には固定アーチ橋として世界で3番目の長さを誇っており、日本の橋として初めて支間長200メートルを超えた長大橋であった。技術的に卓越した存在であるに留まらず、針尾瀬川のランドマークとなる機能美をも備え、橋自体が観光スポットとして広く知られている。当初は有料橋であり、供用開始時より午前10時から午後8時まで（後に午前7時から午後10時までに拡大）バスは500円、普通車が200円の通行料金が徴収、後に徒歩による通行料として10円が設定された。その後、1965年（昭和40年）頃より、地元住民および橋の利用を増加させ、観光客を誘致したい佐世保市が橋の無料化を要求し、1970年（昭和45年）に無料化された。同橋の完成により、長崎-佐世保間の陸路による最短ルートがそれまでの大村市経由から西彼杵半島経由となった。また、西彼杵半島では橋の建設を契機として半島全体の総合開発の機運が高まり、主要道路の舗装・改良工事が進展した。

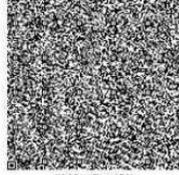
<構造>
架橋地である針尾瀬川の特性と建設資材の運搬、および架設の計画から固定アーチ形式が採用された。

- ・種別 - 鋼道路橋
- ・形式 - 上路式鋼ブレースドリップ固定アーチ
- ・橋長 - 316.26m (アーチ支間: 216m)
- ・幅員 - 7.5m ・道路 - 国道202号

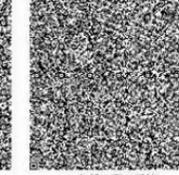
<工事にたずさわった方々>
こちらのQRコードから ※これは橋データの為、実際の工事に合わせた方々とはお名前が異なります。※



発注者、共通部分



下部工事の部分



上部工事の部分

##1 QRコードの読み取りには、スマホやタブレット等の機器が必要です。QRコードリーダーで読み取ると、画面にお名前が表示されます。
##2 QRコードの読み取りが上手くいかない方は、こちらの公式QRコードリーダー「Q」アプリの無料QRアプリ（右記QRコードまたはURLよりダウンロード出来ます）をお試し下さい。
Android iPhone URL: <http://app.liv.jp/911719423/>

施工中写真



実物大

セラミックプレート使用の例



最新のQRコードリーダー(アプリ)については、プレート下方に掲載しているURLから入手ができます。

A4またはA3版のセラミックプレートで作成する。

※ 出典:長崎県建設技術研究センター報告書より引用

具体例①-3: 道の駅等に電子銘板(QRコード等)を導入 (例: 観光情報)



道の駅から観光情報を発信します

～スマートフォンでQRコードを読み取って道東地域を周遊！～

「道の駅を拠点としたドライブ観光協議会※¹」は、地域の観光情報（旬・コア情報）を道東地域の道の駅から情報発信する取り組みを3月22日から開始します。

道の駅の利用者等を対象に地域の魅力ある観光情報（観光施設やイベント情報等）をQRコードの読み込みで情報発信を行い、道東地域におけるドライブ観光の促進を進めていきます。是非、ご活用ください。

情報発信は道東地域の道の駅等13か所で、別紙ポスターやQRコードが印刷されたフライヤー（日本語・英語版）を配布します。また、観光スポット・食のコンテンツ等は、Googleマップの翻訳機能の活用により、インバウンド観光の回復後の対応として、英語以外の多言語での利用も可能となっています。

(情報発信予定)

概 要：別紙のとおり

情報配信の開始日：令和3年3月22日（月）から

配 布 場 所：道東地域の道の駅11か所、観光案内所等2か所の計13か所

「道の駅を拠点としたドライブ観光協議会」※¹

釧路・根室・オホーツク地域の一部の20市町村の行政、観光協会、シーニックバイウェイ等の広域連携のもと、地域特有の観光情報を情報発信拠点とする道の駅で、外国人観光客等に対して周辺情報に一元的に発信することで、周辺地域の更なる周遊を促進するための協議会です。

※ 出典：北海道開発局HPより引用

道の駅を拠点としたドライブ観光促進の枠組み

別紙

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

釧路・根室・オホーツク地域の一部の20市町村の行政、観光協会、シーニックバイウェイ等の広域連携のもと、**地域特有の観光情報**を情報発信拠点とする道の駅に集約し、**観光客に対して周辺情報を一元的に発信**することで、**周辺地域の更なる周遊を促進**

道の駅を拠点としたドライブ観光協議会（令和2年度～）

北海道開発局（事務局）	道の駅（情報発信拠点10カ所）	20市町村の行政・観光協会・シーニックバイウェイ等
試行の枠組みの構築 試行全体の実施支援	休憩、買物、情報収集等の多様な目的で観光客が立ち寄る道の駅の特徴を活かし、 観光情報等の一元的発信 による周辺地域への外国人旅行者等の誘導	各地域が外国人旅行者に発信したい 地域特有の観光情報（旬・コア情報） 等の道の駅への提供および 観光資源への誘客
	デジタル化した道東周遊観光の紹介 Drive Tour Information Michi-no-Eki Eastern Hokkaido 	観光情報

道の駅の情報発信機能の強化並びに周辺地域の情報発信機会の創出及び外国人旅行者の周遊観光促進が期待されるインバウンド対策の強化をテーマとして、道の駅と地域がともに育つ新たな広域連携の枠組みの構築を企画

取組内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度～
	情報発信拠点	道の駅周温泉（1箇所）	道の駅（10箇所）
対象地域	道東地域（14市町村）	道東地域（20市町村）	道東地域（20市町村）
方策	観光情報の掲示 (英語版※日本語を一部含む)	観光情報の掲示・配布 (英語版)	観光情報の掲示・配布・配信 (英語版・日本語版のデジタル化を併用した観光情報)

道の駅から情報発信!
ドライブ観光地域情報を道の駅からお届け!

道東地域限定!
春・夏版

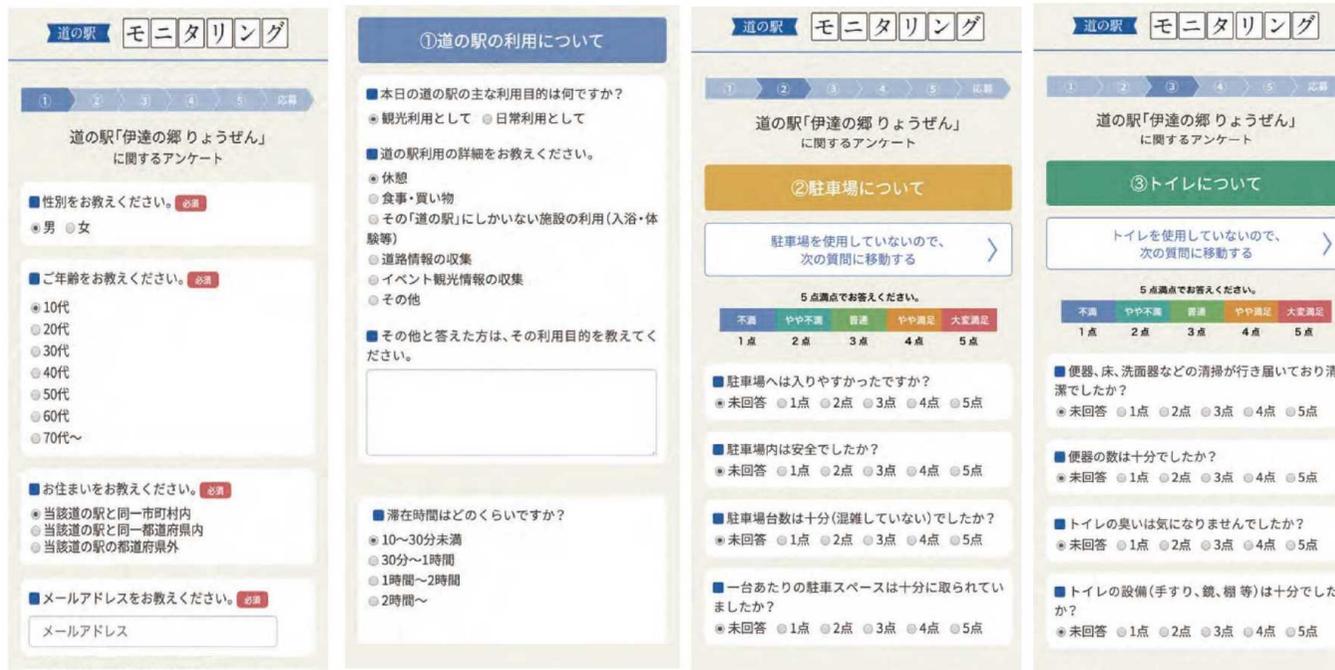


具体例②-1: 電子銘板に設置したQRコード等を使ったwebアンケートの実施

アクセス数やアンケートのコメント等から取組状況を把握するとともに、外部の人の反応や効果を検証する。



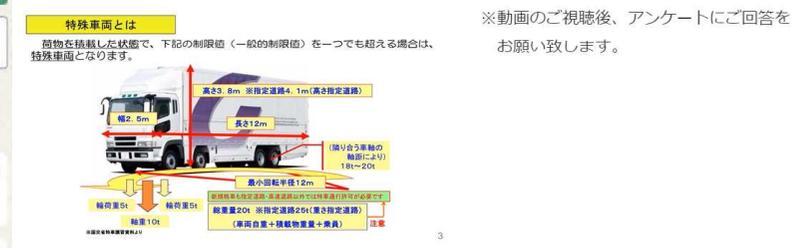
【補足】QRコードを活用した「道の駅」モニタリングシステム概要



HOME > 道路 > 大型車通行適正化に向けた近畿地域連絡協議会 > 一般の方向けアンケート

大型車通行適正化に向けた近畿地域連絡協議会

一般の方向けアンケート



アンケートフォーム



スマホをご使用の方は左図のQRコードからもアンケートに答えられます。
PCをご使用の方は下記URLからアンケートに答えられます。
<https://forms.gle/8Je66xKb9pZd1AkWA>

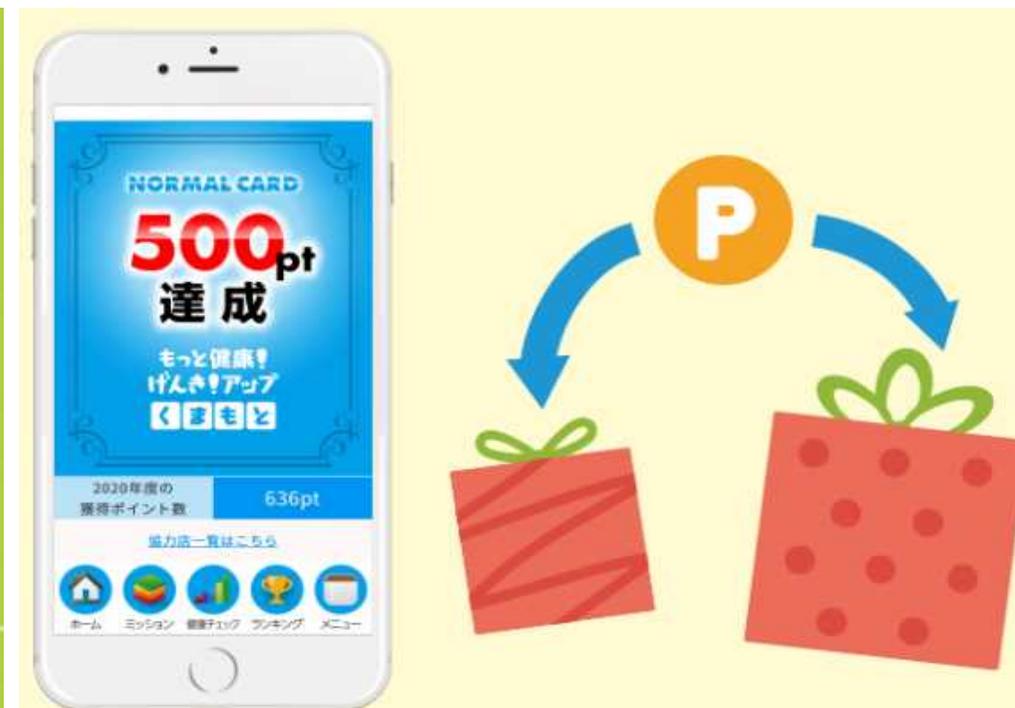
※どちらも同じアンケートフォームにつながっております。

図 「道の駅」満足度調査 スマートフォン アンケート回答画面①

※ 出典:(左図)国土交通省HPより引用、(右図)近畿地方整備局HPより引用

具体例②-2: 電子銘板に設置したQRコード等を使った付加価値 (ポイント等)の創出(例: エコ活動、健康活動)

QRコードを使った付加価値の創出等によって、取組を通して外部の人に特典が付くような仕組みを構築する。



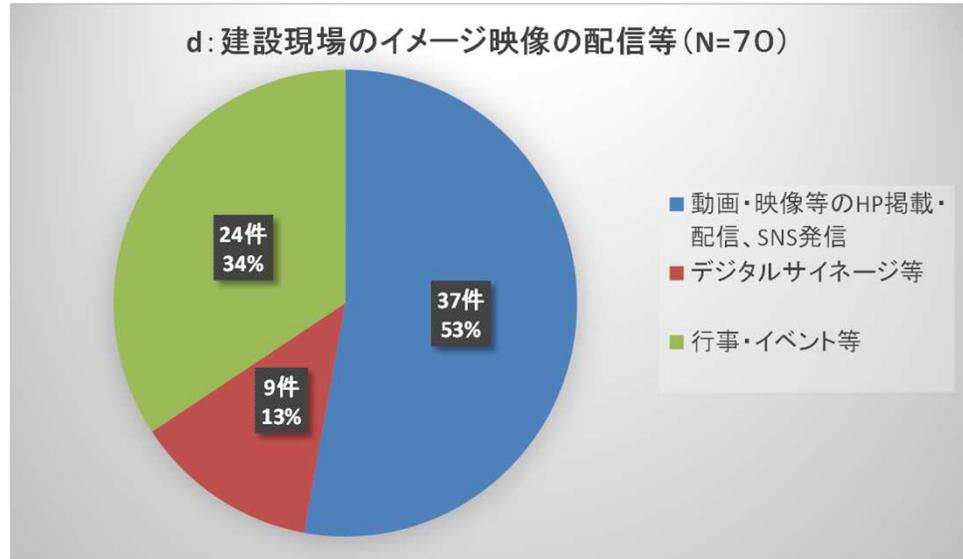
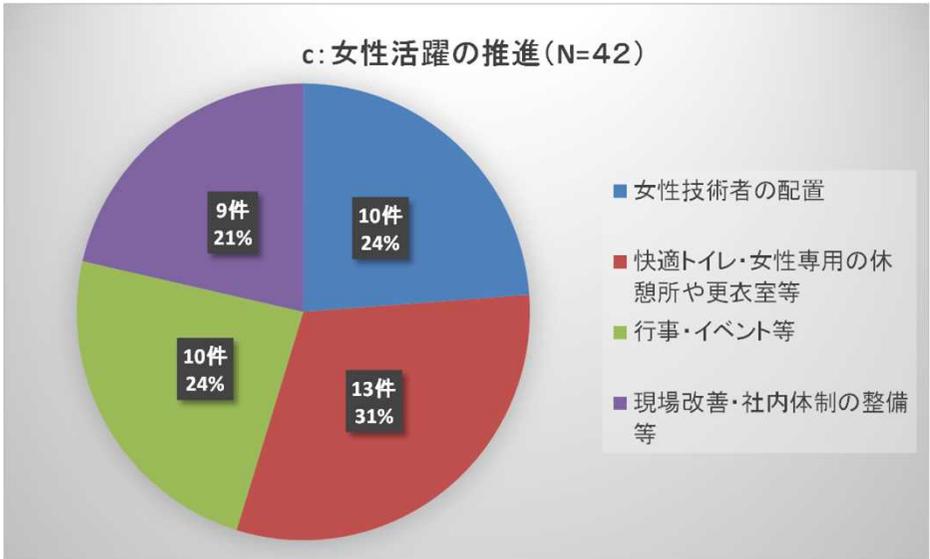
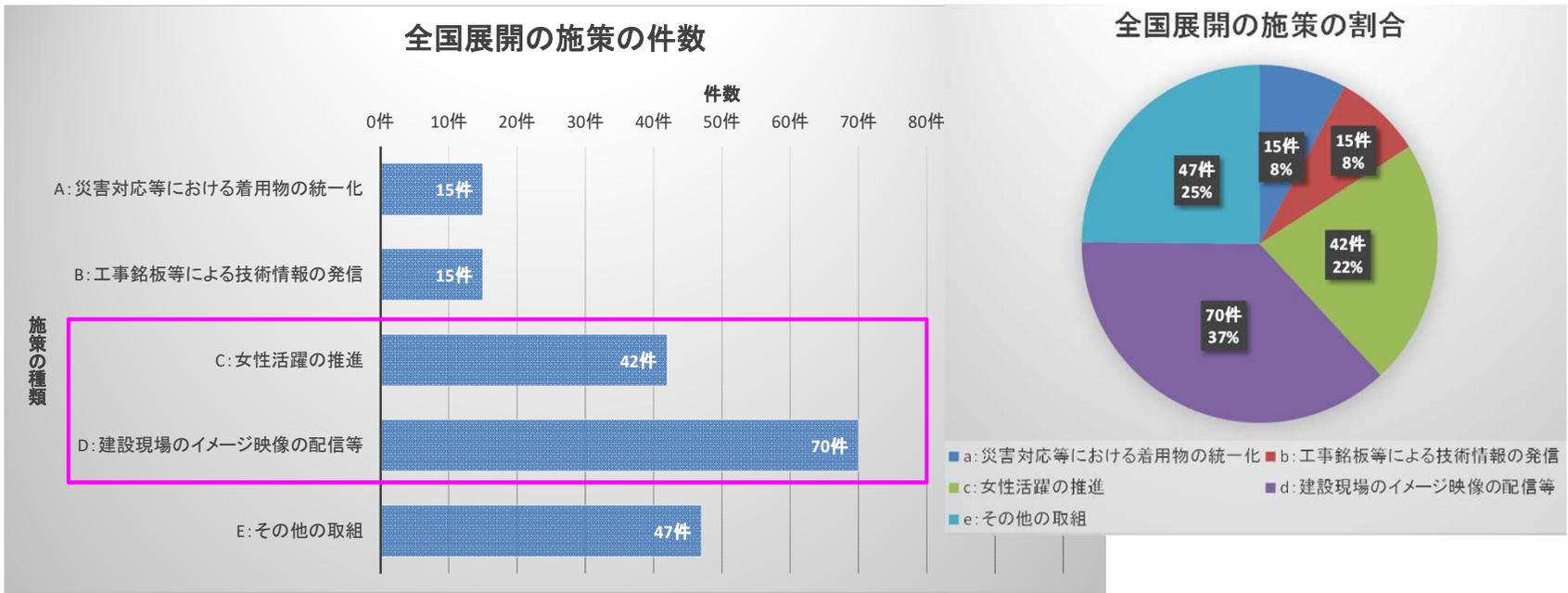
↑ 健康アプリとして、達成して獲得したポイントを交換

← エコアプリとして、知って学んで実践しながら活用

各施策取組状況及び好事例の紹介

施策③：女性活躍の推進

施策④：建設現場のイメージ映像の発信



◎全国における好事例を収集し更なる施策の推進を図る。

③女性活躍の推進

- 女性土木技術者の人生設計・ワークライフバランスについてロールモデルが不足していることから、経験談を伝え、精神的なサポートができる体制・繋がり構築が必要。
- 女性土木技術者が活躍しやすい環境、仕組み(ジョブリターン、知識共有の場等)が大事。
- 上記の取り組みを、会社や職場の枠を越えて情報共有する交流の場の設置が重要。

「夏のリコチャレ2019」プログラム

ドボジョと土木現場体験!
「カントクさんになってみよう!」

日時
2019年7月30日(火)
開始**14:00** 終了**17:00**(予定)

場所
東京外かく環状道路
中央JCT工事現場
※集合場所: 東京都三鷹市北野
3-6-1 常設会場
(東三鷹駅・吉蔵寺駅からバス20分、京王線千歳鳥山駅からバス15分、京王線仙川駅から徒歩20分)

参加申し込み方法
メールにてお申し込みください。
申込締め切りは**2019年7月16日(火)**です。
必要事項: 氏名(ふりがな)、学校名、学年、連絡用メールアドレス、保護者氏名(保護者同様の場合)、緊急連絡先
riko-challe-higashi@womenechengineers.com
(担当: 鈴木、中田)

詳しい情報はこちら
「夏のリコチャレ2019」について
<http://www.gender.go.jp/c-challenge/index.html>
このプログラムについて
[\(土木技術者女性の会WebサイトのURL\)](#)

夏休み自由研究や業界研究に役立つ!!
東京外環道中央ジャンクションの工事現場を女性土木技術者の案内で見学します。
参加者の生徒・学生のみなさんには、ちょっとした現場監督体験もしていただきます。

参加費
無料

対象者・定員
小学5・6年生、中学生、高校生、大学生、大学院生の女性: **20名**
現場体験のサポートをしていただける女性技術者: 若干名

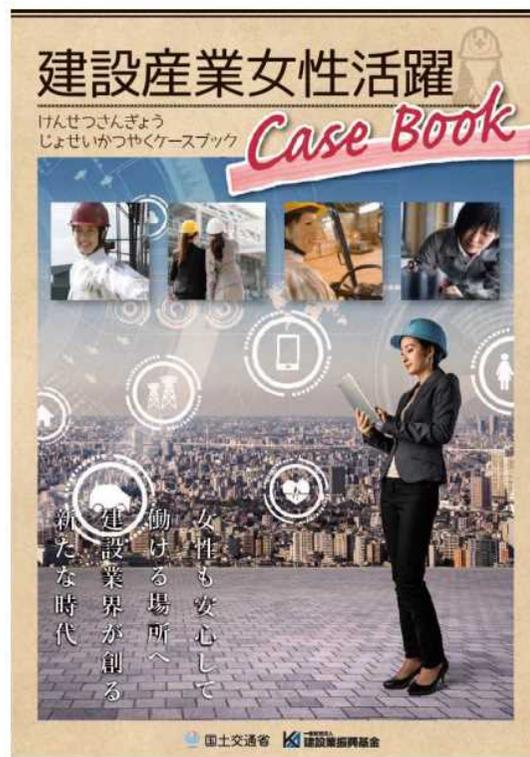
主催
㈱土木技術者女性の会 東日本支部

私達がご案内します!

協力
国土交通省関東地方整備局
東京外かく環状国道事務所
東京外環プロジェクト・女性技術者の会

建設産業女性活躍 Case Book

けんせつさんぎょう じょせいかつやくケースブック



新しい時代
建設業界が創る
働ける場所へ
女性も安心して

国土交通省 建設業振興基金



女性技術者・技能者の
意見交換会・交流会

参照: 建設業女性の活躍応援ケースブック

女性技術者と土木現場体験

参照: (一社)土木技術者女性の会 東日本支部

建設産業女性活躍ケースブック

【建設現場の環境整備】 (例: 快適トイレ)

現場の環境整備事例を国交省HPで一元配信して、取組を推進する。

現場の環境整備

- 「快適トイレ」の事例集 (令和2年3月24日)
 - ・ **「快適トイレ」の仕様を満たす工夫事例集**
 - ・ 「快適トイレ」イメージ (改定) ※R2.8一部見直し
 - ・ 「快適トイレ」の取組状況
 - ・ 被災地における快適トイレの活用事例 (参考資料)
- 「快適トイレ」の事例集 (平成28年9月27日)
 - ・ **【記者発表資料】「快適トイレ」の事例集を取りまとめました!**
 - ・ 「快適トイレ」事例集 (訂正後)
 - ・ **訂正のお知らせ** (平成28年10月3日)
- 建設現場に設置する「快適トイレ」 (平成28年8月4日)
 - ・ **【記者発表資料】建設現場に設置する「快適トイレ」の標準仕様決定**
 - ・ 「快適トイレ」イメージ
 - ・ 建設現場「快適トイレ」の取組 (参考資料)
 - ・ 「快適トイレ」標準仕様を満たすトイレの募集について
 - ・ 「快適トイレ」応募様式
- 建設現場における仮設トイレの事例集 (平成27年8月版)
- **もっと女性が活躍できる建設業へ向けた取組について**

北海道開発局(北海道)快適トイレ設置事例

■ 河川・砂防・道路事業での設置事例

○現場の声

- ・ 男女別トイレで、かつ目隠しもあるため気軽に使用出来る。外扉は二重ロックで安心。また、雨天時も快適に使用できる。
- ・ 室内が広くて圧迫感がなく、トイレ小物やヘルメットやレインコート、安全带等の装備を置けるスペースがあり満足。
- ・ 暖房装置・暖房便座により冬季も快適。



○①～⑱のうち仕様を満たす工夫事例

⑧『入口の目隠しの設置』として、防災シートや、工事看板を活用して、直接見えないように工夫



⑩水道水の供給がないため、ウォータータンクで代用



⑯冬期間の室内温度確保のため暖房設備を設置



※ 出典: 国土交通省大臣官房技術調査課HPより引用

施策④：建設現場のイメージ映像の発信

④ 建設現場のイメージ映像の発信

○建設事業の多様な職種、業務に関して各企業、建設業団体が仕事のイメージ映像を積極的に発信しており、この映像を国で集約し一括化し発信を行う。
 ○国土交通省のHPや地方整備局、道の駅、工事現場等にてイメージ・専門工事映像を流すことで将来の担い手の学生、両親、学校関係者に建設業の理解・魅力を深める。

【従来】
 企業・団体各々が動画を作成
 ・本編動画時間は数十分
 ・ダイジェスト動画時間は数分

【提案】
 ステークホルダーである若者に
 着目した短尺動画の一括化



建設業を紹介する映像「建設現場へGO！」

ポータルサイトによる一括化



人目の付くところで情報発信
 ・国土交通省HP、地方整備局のロビー
 ・道の駅、工事現場等のモニター

施策④：建設現場のイメージ映像の発信

【建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい】 (例：各業団体、民間会社、地方自治体等が作成したイメージ映像の 一括配信)

仕事のイメージ映像を国交省HPで一元配信して、取組を推進する。

The Construction「入職したきっかけ」



The Construction「建設業の魅力&やりがい」



【建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい】各業団体、民間会社、地方自治体等におけるイメージ映像の配信

建設現場で働く人々は、国勢調査の結果によれば、高齢化の増加、また、若手の就労（入職）が少なく、建設業界全体で将来の担い手確保をしていく必要があります。各業団体、民間会社、地方自治体等において、若手入職に関する意識啓発に関する動画を作成されていることから、本ページで紹介いたします。

〇一般社団法人 秋田県建設業協会

アキケンチャンネル

- 「建設業：若手期待社員」。能代山本建設業協会H29.9.1
- 「私がツクル。新しい建設業のカタチ。」。平鹿建設業協会 H30.5.24
- 「★ICTステップUP動画（短編）」

〇一般社団法人 福島県建設業協会

建設チャンネル

東北で活躍する建設業従事者の声

- The Construction「入職したきっかけ」
- The Construction「建設業の魅力&やりがい」

〇一般社団法人 東京建設業協会

みんなの建設業就活ナビ「いま、建設業は熱い!!!」

〔掲載動画〕

- ・現場で活躍中の若手社員インタビュー
- ・働き方改革 イクボス編
- ・働き方改革 イクメン編
- ・現場を支える若手社員の一日 土木施工管理編
- ・現場を支える若手社員の一日 建築施工管理編

〇一般社団法人 山梨県建設業協会

〔掲載動画〕

- ・若い力(キミ)を待っている
- ・けんせつ小町甲斐 女性だって建設業で「活躍できる」を目指して。
- ・建設女子たちに聞いてみた! 山梨県土木施工管理技士会
- ・(一社)山梨県建設業協会 TVCM_KENSETSUGYO
- ・地域を支え、明日をつくる仕事_2020

〇一般社団法人 長野県建設業協会

長建ヤングマン ヒーローヤングマン

〇一般社団法人 大阪建設業協会

建設の星ゼネコンドー（アニメ）

〇一般社団法人 徳島県建設業協会

Super_cool_professional ～カッコイイ、希望の持てる、建設産業へ～

〇一般社団法人 愛媛県建設業協会

マルゴトひめ建

〔掲載動画〕

- ・やりがい”と”希望”の持てる建設業にチャレンジ!

〇一般社団法人 鹿児島県建設業協会

JOIN US! (君の仕事を街に残そう) (道路、橋、ビル 編)

〇一般社団法人 新潟県測量設計業協会

The 測量設計

〇一般社団法人 静岡県測量設計業協会

地球を測り社会を支える測量業

〇鹿島建設株式会社

土木PR動画

※ 出典：国土交通省大臣官房技術調査課HPより引用

好事例①：地域インフラサポートプラン2022(関東地整)

業界を支援するために、仕事のやりがいや魅力ある取組を配信する。

国土交通省関東地方整備局
関東の川、みち、港、空港、まちづくりに関するポータルサイト

ホーム > 河川 > 道路 > 港・空港 > 都市・

ホーム > 技術情報 > “地域インフラ”サポートプラン関東

技術情報 公共工事に関する共通仕様書や工事安全

技術者スピリッツ

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に未長く使ってもらえるものを作るために、調査・設計の段階から多くの技術者が携わり、また工事現場でも技術者・技能者が一体となり、日々努力をしています。世界に一つだけの工事に、多方面から携わる技術者に光をあて、紹介していきます。「喜ばれるものを作る」輩出する技術者の魅力が伝われば幸いです。



第482話
「突き抜けた建設会社を目指して」
古郡建設(株) 浅香 駿哉

→ [技術者スピリッツ 301~400話](#)

→ [技術者スピリッツ 201~300話](#)

→ [技術者スピリッツ 101~200話](#)

→ [技術者スピリッツ 1話~100話](#)



第481話
土ムラ工業(株) 坂本 隼理



第480話
古郡建設(株) 斉藤 太直



第479話
(株)ナカノフード建設 小池 叶夢・高橋 健太



第478話
佐田建設(株) 矢嶋 健・黒岩 梓紗



第477話
(株)駒井ハルテック 在原 優佳



第476話
潮田建設(株) 藤本 亘



第475話
常総開発工業(株) 室 田 希介



第474話
鈴織工業(株) 平野 達也



第473話
樋口土木(株) 野村 理

→ [女性技術者の活躍・快適な現場環境](#)

誰もが働きやすい魅力的な現場づくりのため、女性の感性を生かした各種取り組みを紹介します。

→ [“地域インフラ”サポートチーム関東](#)

→ [建設産業の取組支援](#)

→ [過去の“地域インフラ”サポートプラン関東](#)

[関東地方整備局の紹介](#) | [公募・ご意見募集](#)

国土交通省 関東地方整備局 所在地 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話：048 (601)

[リンク・著作権等について](#) | [プライバシーポリシー](#) | [ウェブアクセシビリティへの取り組み](#)

Copyright © Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kanto Regional Development Bureau.

※ 出典：関東地方整備局HPより引用

東京外環プロジェクト・女性技術者の会

第12回 開催報告

◆ 誰もが働きやすい魅力的な現場づくりのため、女性の感性を生かしたよりよいインフラ整備・管理・広報・地域連携を推進するため、「東京外環プロジェクト・女性技術者の会」をH28.12月に設立し、R4.7.4(月)に第12回を開催しました。

- 開催概要
 - 日時：令和4年7月4日(月) 15:00~16:00
 - 場所：NEXCO中日本 東京工事事務所 会議室
 - 参加者：国土省・NEXCO中日本・NEXCO東日本・施工業者、協力会社等の女性技術者全26名中18名出席
 - 内容：女性技術者の会の説明・意見交換会
- 主な内容
 - 【女性技術者の会の説明】
 - 東京外環プロジェクト・女性技術者の会のこれまでの活動や、設立経緯等の説明
 - 建設産業女性定着支援ネットワークについての説明
 - 【意見交換会】
 - 自己紹介(所属、仕事内容、経歴、意気込み等)
 - 今後の女性技術者の会のスケジュールや内容(やりたいこと)、役割分担について
 - 現在の現場の状況について 等



第12回女性技術者の会 集合写真

意見交換会風景



好事例②: けんせつ小町・チーム“愛”、あいち土木の魅力・未来プロジェクト (中部地整)

建設業界の働きやすい環境の創出や担い手確保を目指して、産官学でさまざまな普及活動を行っており、それらの取組を各HPで配信する。



※ 出典:(左図)中部地方整備局愛知国道事務所HPより引用、(右図)中部地方整備局名古屋国道事務所HPより引用

好事例③: けんせつ小町チャンネルYouTube開設(日建連)

女性の活躍を支援する「けんせつ小町委員会」を設立。女性のみならず誰もが働きやすい、働き続けたいと思われる業界を目指して、さまざまなプロジェクトを企画・立案、YouTubeチャンネル等で発信する。

※ 出典: YouTubeより引用

好事例④:「建設現場へGO!」をHP上で掲載(人材協)

建設産業人材確保・育成推進協議会(人材協)が、業界への若年者の入職促進、人材の確保・育成・定着などを推進するために、業界の担い手確保・育成に関する情報やイベント情報等を配信する。



業界の魅力・やりがい | 仕事や職種 | 働く人 | 働き方改革 | 女性の入職・活躍・定着 | スキルアップ



(一社) 日本建設業連合会	(一社) 建設産業専門団体連合会	(一社) 全国建設室内工事業協会	(一社) 建設コンサルタント協会
(一社) 全国建設業協会	(一社) 日本建設躯体工事業団体連合会	(一社) 全国タイル業協会	(一社) 全国測量設計業協会連合会
(一社) 全国中小建設業協会	(一社) 日本造園建設業協会	(一社) 日本建築協会	(一社) 日本建設機械レンタル協会
(一社) 日本建設業経営協会	(一社) 鉄骨建設業協会	(一社) 日本左官業組合連合会	(一社) 日本計装工業会
(一社) 日本道路建設業協会	(一社) 日本骨工業連合会	(一社) 全国道路橋樑・標示業協会	(一社) 消防施設工事協会
(一社) 日本埋立浚渫協会	(公社) 全国鉄筋工事業協会	(一社) 全日本瓦工事業連盟	(一社) 日本電設工業協会
全国建設業協同組合連合会	(一社) 日本機械土工協会	(一社) 日本タイル床瓦工事業協会	(一社) 日本空調衛生工事業協会
(一社) 全国建設業団体連合会	(一社) 全国基礎工事業団体連合会	(一社) 建築開口部協会	全国管工事業協同組合連合会
(一社) 日本海上起重機協会	(一社) 日本基礎建設協会	(一社) 日本塗装工業会	(一社) アクリル・コンクリート建設業協会
全国深溝業協会	(一社) 全国コンクリート圧送事業団体連合会	全国マステック事業協同組合連合会	(一社) アクリル・コンクリート工事業協会
全国ポンプ・圧送船協会	(一社) 全国クレーン建設業協会	日本外壁仕上業協同組合連合会	(公社) 全国解体工事業団体連合会
日本港湾空港建設協会連合会	ダイヤモンド工事業協同組合	(一社) 日本ウレタン断熱協会	日本金属工事業協同組合
(一社) 日本型枠工事業協会	(一社) 日本アンカー協会	日本室内装飾事業協同組合連合会	全国建設弘済協議会
(一社) 日本造園組合連合会	(一社) 全国防水工事業協会	(一社) 日本シャッター・ドア協会	(財) 全国建設産業教育訓練協会
全国圧接業協同組合連合会	日本建設インテリア事業協同組合連合会	(一社) 全国地質調査業協会連合会	国土交通省
厚生労働省	文部科学省	特定非営利活動法人いばらき建設経済研究社	等

※ 出典: 建設産業人材確保・育成推進協議会HPより引用(人材協: 国土交通省をはじめとする関係行政機関や建設産業団体等から構成)

全国に展開可能な具体案のまとめ

災害対応における着用物の統一化等

- ・ 災害に一丸で取り組む姿勢の発信として、行政機関・建設業・建設コンサルタントが統一着用物の導入

【展開が可能な施策の具体案】

- ① 災害対応時のビブス等の統一的な着用。
- ② 災害対応時のリアルタイムでの活動をHPやSNS等で発信。
- ③ 一目で地域の守り手(建設業界)としてわかるような格好いいデザインの作業服を着て活躍(例えば、災害対応時において、「一体感」や「安心感」を感じるデザインの作業服を着用)。

◎ 災害時(通常時も含む)に外部の人が現場で働く人を見た際、使命感や責任を持った建設業界として、イメージアップに繋がるような取組を推進する。

全国に展開可能な具体案 (施策①について)

①ビブス等の統一な着用

各地方整備局や各業界団体等でビブス等を準備し、災害対応時の着用を徹底する。さらに、将来的には建設業界として統一なビブス等を製作し、災害対応時に一斉に着用することで、建設業界としての存在意義の証明や他者への役割の明確化を図る(例: 自衛隊や消防団)。



②TEC-FORCEの役割及び活動範囲の明確化

TEC-FORCE隊の広報・ロジ班が、ビブス等を着用した地域の守り手(建設業界)のリアルタイムでの活動状況(真っ先に駆けつけての対応状況や被災状況等)も併せて内外(関係者・第三者の双方)に発信することで理解促進を図る(例: TEC-FORCEの特設ページやSNS等を使って配信)。
【ポイント】被災状況や建設業界の地域貢献を正確に伝える。



③デザインを介して、他業界とのコラボによる付加価値(機能性等)を持った着用物の製作及びイメージアップ

災害時、通常時を問わず、着用物の工夫を活かす取組を推進例(災害時): 各自治体とミズノ社(スポーツメーカー)の共同で防災服をリニューアル



③デザインを介して、プロジェクトや有名人とコラボした斬新なデザインの着用物を通じたアピール

災害時、通常時を問わず、着用物の工夫を活かす取組を推進例1(通常時): 全国建設業協同組合連合会と東京モード学園の共同で開催したユニフォームデザインプロジェクト
例2(通常時): 日建連けんせつ小町のプロジェクトで有名人と共同してユニフォームをデザイン(YouTubeでアップ)



※ 出典: 参考資料を参照

工事銘板による技術情報の発信等

- QRコードを用いた工事完成までの映像を発信
- 工事関係者を映画のエンドロールの様に流して紹介

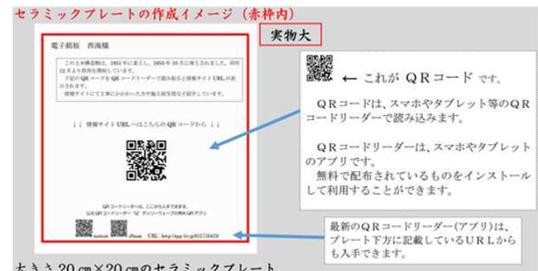
【展開が可能な施策の具体案】

- ①電子銘板(QRコード等)を使った技術情報の発信。
例:道の駅や展望台等への電子銘板(QRコード等)の設置。
- ②電子銘板(QRコード等)を使ったwebアンケート等の実施。

◎電子銘板(QRコード等)を活用することで、多くの人(特に若者)に建設工事に関連する幅広い情報が目に触れるとともに、情報を見た側の反応やアクセス数等を見える化することで、建設業界の今後のあるべき方向性の検証、外部の人に対するイメージアップや意識の醸成を図る。

全国に展開可能な具体案(施策②について)

①電子銘板(QRコード等)やセラミックプレートを使った技術情報の発信



セラミックプレート使用の例



↑セラミックプレート等に印字したQRコードから読み取る方法

セラミックプレート等に記載された情報とQRコードから読み取る方法 →

①道の駅等の公共の場に電子銘板(QRコード等)を導入(例:観光情報)

道の駅を拠点としたドライブ観光促進の枠組み

別紙 「世界の北海道」を目指して 北海道広域観光計画

国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ウオゾイ

令和3年3月22日

道の駅から観光情報を発信します

～スマートフォンでQRコードを読み取って道東地域を周遊！～

「道の駅を拠点としたドライブ観光促進」は、地域の観光情報(街・コア情報)を道東地域の道の駅から情報発信する取り組みを3月22日から開始します。道の駅の利用者等に対象に地域の魅力ある観光情報(観光施設やイベント情報)をQRコードの読み取りで情報発信を行い、道東地域におけるドライブ観光の促進を進めています。是非、ご活用ください。

情報発信は道東地域の道の駅11か所、別紙ポスターのQRコードが印刷されたフライヤー(日本語・英語版)を配布します。また、観光スポット・景観コンテラ等、Googleマップの観光情報の追加により、インバウンド観光の促進を図るとして、英語以外の多言語での利用も可能となっています。

情報発信予定 道東地域(11箇所)
配布場所 道東地域の道の駅11か所、観光案内所等2か所の計13か所

「道の駅を拠点としたドライブ観光促進」※1
道東地域(オホーツク地域の一部の20市町村)の行政、観光協会、シーニックバイウェイ等の広域連携のもと、地域特有の観光情報を情報発信拠点とする道の駅で、外国人観光客等に対して道東地域に一元的に発信することで、周辺地域の更なる周遊を促進するための取組です。

道の駅から情報発信!
ドライブ観光地情報をもっとお知らせ!

限定! 春・夏・秋

観光情報

道の駅(情報発信拠点10カ所)
体験、買物、情報収集等の多様な目的で観光客が立ち寄る道の駅の特徴を活かし、観光情報等の一元発信による周辺地域への外国人旅行者等の誘導

20市町村の行政・観光協会・ツアー会社等
各地域が外国人旅行者に発信したい地域特有の観光情報(街・コア情報)等の道の駅への提供および観光資源への誘客

デジタル化した道東周遊観光の紹介

道の駅の情報発信機能の強化並びに周辺地域の情報発信機能の創出及び外国人旅行者の周遊観光促進が期待されるインバウンド対策の強化をテーマとして、道の駅と地域とともに育つ新たな広域連携の枠組みの構築を企図

取組内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度～
情報発信拠点	道の駅摩周温泉(1箇所)	道の駅(10箇所)	道の駅(11箇所) + 観光案内所等
対象地域	道東地域(14市町村)	道東地域(20市町村)	道東地域(20市町村)
方策	観光情報の掲示(英語版※日本語を一部含む)	観光情報の掲示・配布(英語版)	観光情報の掲示・配布・配信(英語版・日本語版のデジタル化を併用した観光情報)

②電子銘板に設置したQRコード等を使ったwebアンケートの実施(外部の人の反応や効果を検証)

【補足】QRコードを活用した「道の駅」モニタリングシステム概要

道の駅「伊達の駅りょうぜん」に関するアンケート

一般の方向けアンケート

※動画のご視聴後、アンケートにご回答をお願い致します。

アンケートフォーム

スマホをご使用の方は左側のQRコードからもアンケートに答えられます。PCをご使用の方は下記URLからアンケートに答えられます。
<https://forms.gle/SjeinK3hoZdLAKWA>

※どちらも同じアンケートフォームにつながっております。

図「道の駅」満足度調査 スマートフォン アンケート回答画面①

②電子銘板に設置したQRコード等を使った付加価値(ポイント等)の創出(例:エコ活動、健康活動)

配信中 **いちエコ** アプリ

毎日エコを取り入れて、ポイントもらっちゃお。

暮らしの中のCO2排出量を見える化

エコスポットでポイントGET!

クイズに答えてポイントをもらおう!

いますぐ無料ダウンロード

健康アプリとして、達成して獲得したポイントを交換 ←エコアプリとして、知って学んで実践しながら活用

※ 出典: 参考資料を参照

女性活躍の推進の発信等

- 快適トイレ等のハード整備
- けんせつ小町、ロールモデルの発信等のソフト整備

建設現場のイメージ映像の発信等

- 建設業の仕事がイメージできる映像を国で集約し一元的に配信



現状：ハード整備、ソフト整備ともに進んできている



【更に施策を進めるための展開が可能な施策の具体案】

- ①HPで集約された動画、イベントやカード等を使った発信方法の工夫
 - ②建設業の魅力・やりがいを実感できる機会の創出等による発信
 - ③HPや動画共有プラットフォーム(YouTube等)で取組を一元化して配信
(業界でもスムーズに水平展開を行うためのPDCAサイクルの確立)
- ※①～③によって、一般の方々をターゲットにした様々な取組を発信

⇒次項より、全国に展開可能な具体案及び水平展開のイメージを提示

【他産業と合わせて魅力を発信】

【イベント等を通じた魅力の発信】

～沖縄本土復帰50周年記念事業～



仕事と産業

建設業の魅力発見動画コンテスト入賞「けんせつ小町に迫る」

90回再生 2021年11月24日 県内全域   

建設業の魅力を発信し建設業への入職促進を図ることを目的に実施した「動画コンテスト」で、21件のご応募の中から入賞を受賞した作品です。

- 受賞者:雲雀丘学園高校こまち
- 受賞作品:「けんせつ小町に迫る」
- 作品概要:私の高校で建設工事が行われており、見学させて頂いた。現場には女性もいて、話を向うと建設業で働く女性を「けんせつ小町」と呼ぶと知り、毎日工事の様子が気になるようになった。この動画で多くの高校生や進路に悩む人に建設業の魅力を伝えたい。



※ 出典:(左図)兵庫県HPより引用、(右上図):沖縄県HPより引用、(右下図):山口県HPより引用



～やまぐち建設産業魅力発見フェア～



【カードを使った建設業界(建設従事者等)の魅力の発信】 ～ダムカード～

～青森の漁師カード～ (参考例)

ホーム [国土交通省について](#) [報道・広報](#) [政策・法令・予算](#) [白書・オープンデータ](#) [お問い合わせ・申請](#)

ダム

水管理・国土保全トップ > 河川 > ダム > 砂防 海岸 > 水資源 > 下水道 > 防災 > 環境 > 利用 > 国際 > 情報・技術

ホーム > 政策・仕事 > 水管理・国土保全 > ダム > ダムカード

ダムカード

※ダムカードの配布については、令和4年5月1日時点で全国一律休止等の制約はございませんが、新型コロナウイルス感染症対策のため、個別に配布を休止している場合がありますので、お出かけの際は事前に確認してからお出かけされた方が確実です。

ダムカードって何？

国土交通省と独立行政法人水資源機構の管理するダムでは、ダムのことをより知っていただくこと、平成19年より「ダムカード」を作成し、ダムを訪問した方に配布しています。カードの大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものであり、おもて面はダムの写真、うら面はダムの形式や貯水池の容量・ダムを建設したときの技術、といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。カードは、国土交通省と水資源機構の管理するダムのほか、一部の都道府県や発電事業者の管理するダムで作成し、ダムの管理事務所やその周辺施設で配布しています。



知りたいダムカードの説明情報にマウスを重ねてください。説明が表示されます。

どんな施設で配布しているの？

「統一デザインのダムカード」は、基礎地盤から堤頂までの高さが15m以上の治水・利水を目的としたダム及び国土交通省所管水資源開発施設(貯水池、導水路等)において作成し、配布しています。



※出典:(左図)国土交通省HPより引用、(右図):「海と日本PROJECT in 青森県」HPより引用

【出前授業を通じた発信】

【バーチャル現場見学会による発信】



県建設業協会 小城支部

建設業の仕事知って 中学校で出前授業

中学校で建設業の出前授業
重機体験も「興味わいた」

「守る」お仕事～みんなの安全・安心を守りましょ～ 県建設業協会 小城支部

例えば、大雨が降れば、川から水があふれたり、山が崩れて道路が通れなくなったりします。

何もしないと、堤防（ていぼう）がこわれて、もっと水が押し寄せてきたり、道路が通れないから、逃げる事が出来なくなったりします。

そんなときは、建設業の人たちが出動して、堤防が崩れないようにしたり、急いで道路を通れるようにします。



バーチャル現場見学会

楽しみ方

パソコンで見る

YouTube動画を再生し、画面をドラッグすると工事現場の360度全方位を見ることができます。

対応ブラウザ：
最新のGoogle Chrome、Firefox、Internet Explorer

※Internet Explorerでは最新版でも視聴できない場合があります。

スマートフォン、タブレットで見る

下記のQRコードを、スマートフォン・タブレットのQRコードリーダー読み取り、表示されるURLにアクセスしてください。

「VR360° バーチャル現場見学会」の視聴にはYouTubeアプリ（無料）が必要です。YouTubeアプリで動画を再生し、スマートフォン・タブレットを傾けたり画面をスワイプすると工事現場の360度全方位を見ることができます。



※出典:(左図)佐賀県建設業協会HPより引用、(右図):阪神高速道路株式会社HPより引用

して配信 (業界でもスムーズに水平展開を行うためのPDCAサイクルの確立)



- 各地整及び4協会にヒアリングを行った結果、頂いた4施策以外のその他施策等に関する意見は以下の通り
- 現在の4施策ではやりがい・魅力の向上を感じづらいので、その他の施策についても検討してほしい。
- 4施策に該当しない取組(表彰制度、SDGsの取組、週休2日等)でモチベーションアップ、やりがいに繋がる施策がある。
- デジタルの部分(DX、AI等の新技術の利活用等)は若者にとって魅力を感じる。
- 現場を使ったツーリズムは受けが良かったので、魅力アップにつながる。

インフラツーリズムポータルサイトについて

ダム、橋、港、歴史的な施設等、インフラ施設を観光するインフラツーリズムが注目され始めています。当サイトでは、2016年より全国各地で実施されるインフラツアーを紹介しています。インフラツーリズムの取組は、各施設で様々な工夫を取り入れ、年々充実してきております。当サイトでお気に入りのインフラ施設、インフラツアーを見つけていただき、是非現地へ足を運んでいただければ幸いです。



インフラツーリズムの魅力

インフラツーリズムでは、「巨大な構造物のダイナミックな景観を楽しんだり」、「普段は入れないインフラの内部や今まで見ることができなかった工場の内部など非日常の体験を味わう」ことができます。また、ガイドの案内を聞いた後、展示物を見て回ることで、「インフラ施設の役割やつくられた背景を学ぶ」ことができるほか、地域と連携した企画に参加することで「インフラ施設周辺の観光資源を楽める」のもインフラツーリズムの魅力です。



01 巨大な構造物のダイナミックな景観を楽しむ

02 普段行かない場所で、刺激を受けたり、新たな発見ができる

03 施設の役割、つくられた背景を知る

04 子どもはもちろん大人の社会見学でより地域のことを知る

令和4年度 建設ステーション 元気アップコンテスト・技能者表彰

募集期間：令和4年10月末日まで



建設ステーション 元気アップコンテスト

■ 応募・推薦要項 ■

募集対象	<p>神奈川県内に本店又は支店をもつ施工者による県内の土木・建築工事の建設ステーション（公共工事・民間工事を問いません。）で実施された建設業の社会的認知度を高めるための創設工夫された優れた取組</p> <p>※施工者等個人（社名）でも応募可能です。 ※PFIや維持管理工事も対象です。</p>
表彰の部門	<p>次の2つの部門ごとに選考・表彰します。</p> <p>1 大規模工事部門 契約額1億円以上の建設ステーションに係る取組</p> <p>2 中小規模工事部門 契約額1億円未満の建設ステーションに係る取組</p>
審査の観点	<p>次の1から5の項目別に評価を行い、その合計点による評価となります。</p> <p>下記の例示以外でも、各項目の趣旨に沿った取組が一つでもあれば、奮ってご応募ください。</p> <p>項目1 地域貢献度 (1) コミュニケーションアップ度 (例) 小学生を対象とした見学会、運動会スポーツイベントの実施等</p> <p>(2) アメニティーアップ度 (例) 清掃活動、緑化活動、防災活動、災害対策、自主パトロール、災害時の応急復旧業務等</p> <p>項目2 セイフティーアップ度 (例) 安全衛生者の増強、休憩所の充実、熱中症対策等</p> <p>項目3 現場の働きやすさ向上度 (1) 働き方改革度 (例) 残業時間の削減、職場復帰支援等</p> <p>(2) 現場の仕事のテクノアップ度 (例) ICT建機の活用、ドローンによる測量設計等</p> <p>(3) 女性の活躍支援度 (例) 女性用トイレの設置、バスルームやパウダールームの設置、育休制度等</p> <p>項目4 人材確保・育成度 (1) 次世代確保・育成度 (例) メンター制度、工業高校の生徒を対象とした出前授業・現場見学、インターンシップの受け入れ等</p> <p>(2) 外国人人材確保・育成度 (例) 外国人従業員への日本語講習、資格取得のための母国語テキスト作成等</p> <p>項目5 その他 上記以外の取組で審査委員が評価に値すると判断した取組</p>
注意事項	建設ステーション（建設現場）で実施された取組が対象のため、今年度から、建設業者による地域行事への参加や物品の寄贈等は募集の対象外とします。

建設ステーション 技能者表彰

■ 応募・推薦要項 ■

賞名	優秀技能者賞	青年優秀技能者賞
募集対象	<p>各職種の責任者で、高度な専門知識と技能を有し、リーダーシップに優れた熟練者個人</p>	<p>各職種の若手技能者で建設業への意欲に満ち、将来の活躍が期待できる個人</p>
年齢	35歳以上 (令和5年1月1日時点)	35歳未満 (令和5年1月1日時点)
勤務年数	原則として、神奈川県内の本店又は支店を有する同一の事業所に10年以上勤務していること	原則として、神奈川県内の本店又は支店を有する同一の事業所に5年以上勤務していること
職種	<p>1. とび工 5. 鉄筋工 11. 世話役 2. 土工 6. 型枠工 (例) 職長 3. 造園工 7. 土工 (例) 技能職 4. 重機操作 8. 土工 (例) 作業長 (例) バックホウ 9. トンネル工 12. その他職種 ・クレーン 10. 舗装工 (例) 電気工 ・ブルドーザ (例) 内装工</p> <p>※候補者は技能に関する資格保有者又は講習の受講者に限ります。もっぱら技術者や管理職として業務に従事している方は対象外です。</p>	
審査の観点	<p>次の①から⑥の観点別に評価を行い、その合計点による評価となります。</p> <p>① リーダーシップ ② 情熱・誇り・意欲 ③ 人格・人間性 ④ 事業への貢献度 ⑤ 技術の優秀性 ⑥ その他（上記以外の評価すべき事項）</p>	

応募方法 協議会ホームページ (<http://www.cci-kanagawa.org/>)の「元気アップコンテスト・技能者表彰」のページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入・写真貼付の上、郵送又はメールで事務局へ提出してください。

審査選考 建築家、学職経験者、マスコミ関係者等で構成する審査委員会により選考します。

備考 ・書類不備の場合や過去の応募用紙で応募された場合は、審査対象とならないことがあります。応募書類は返却しません。
・個人情報含む応募書類の内容は、事務局で適切に管理し、表彰事業の選考、パンフレット作成やホームページ等への掲載以外の目的には使用しません。また、無断で第三者への提供も行いません。

お問合せ 応募書類 提出先

神奈川県魅力ある建設事業推進協議会事務局
〒231-0023 横浜市中区山下町32 横浜合同庁舎3階（神奈川県建設業課内）
TEL 045-285-4245 / FAX 045-285-4248
メール cci.kanagawa@pref.kanagawa.lg.jp
ホームページ <http://www.cci-kanagawa.org/>

- 元気アップコンテスト**
建設ステーションで実施された「元気アップ」に資する創意工夫された優れた取組を表彰します。
★本年度も「大規模工事部門」、「中小規模工事部門」に分けて表彰。
- 技能者表彰**
建設ステーションで活躍する優れた技能をもつ熟練工、意欲にあふれた若手技能者を表彰します。

- 特典（メリット）**
- ① 神奈川県「いのち貢献度指名競争入札」における評価基準項目の1つとなっています。
 - ② 神奈川県「競争入札参加資格認定」における等級格付けの主観点を加えます。（技能者表彰の受賞者所属企業）
 - 賞状の授与と記念品の贈呈をいたします。
 - 表彰後、実施結果・受賞者紹介のパンフレットを制作し配布します。
- ※詳細はチラシ裏面の応募・推薦要項をご覧ください。
主催：神奈川県魅力ある建設事業推進協議会（CCI神奈川）